

平成15年8月4日

プレス発表資料

中城湾港泡瀬地区公有水面埋立事業に係る「平成14年度の工事の実施に係る事後調査結果等について」及び「貴重種・重要種に相当する種で環境影響評価書に記載されている動植物種以外の種の存在等について」の県環境部局（文化環境部）への提出について

並びに

中城湾港泡瀬地区護岸の台風等に対する防護対策工事の実施について

標記について、別紙1、2の通り県環境部局（文化環境部）へ提出するとともに、別紙3のとおり工事を開始することとしたのでお知らせします。

別紙1：「平成14年度の工事の実施に係る事後調査結果等について」

別紙2：「貴重種・重要種に相当する種で環境影響評価書に記載されている動植物種以外の種の存在等について」

上記に係る問い合わせ先

沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課 赤倉・富田

電話 098-860-1214

沖縄県土木建築部港湾課 小渡・田盛

電話 098-866-2395

別紙3：中城湾港泡瀬地区護岸の台風等に対する防護対策工事の実施について

上記に係る問い合わせ先

沖縄総合事務局

那覇港湾空港工事事務所中城湾港出張所 益留・知念

電話 098-938-9640

平成14年度の工事の実施に係る事後調査結果等について

本日、「中城湾港（泡瀬地区）公有水面埋立事業に係る環境影響評価書（平成12年3月）」（以下「アセス書」という。）の手続きの定めに基づき、標記について、県の環境部局（文化環境部）へ提出した。

事後調査は、事前予測が不確実性を伴うため、予測結果の検証を行うために実施するものであり、アセス書で定められた項目（大気質、騒音、振動、水質、植物・動物（鳥類、海藻草類、移植先の海草藻場、クビレミドロ、サンゴ、トカゲハゼ）、比屋根湿地の汽水生物等）及び補足項目について、環境監視委員会で用いた資料を委員会における意見をふまえて若干修正（海草藻場や鳥類について）してとりまとめた。

調査項目のうち監視基準を設けている大気質、騒音、振動、水質については、工事の影響による基準値の超過はなかった。

自然環境に関する項目については、個別に見ると、鳥類について工事中工事区域近傍での休息が見られなかった。海藻草類とサンゴについて工事前から続く被度の減少が見られ、今後監視方法についても再検討するとともに注意深く監視を続けることとした。移植先の海草藻場は、移植後時間が経過しておらず今後監視を続けることとした。

結果の概要

事後調査項目		事後調査結果
大気質		二酸化窒素、ベンゼンともに監視基準を満たしていた。
騒音		監視基準を満たしていた。
振動		監視基準を満たしていた。
水質		監視基準を満たしていた。
植物 ・ 動物	鳥類	種類数・個体数ともに過去の変動範囲内であった。工事中 St7 付近の浅瀬の鳥類の休息がみられなかった。
	海藻草類	St2・St3 で被度が減少したが、工事前から減少しており、今後監視方法についても再検討するとともに注意深く監視を続けることとした。
	移植先の海草藻場	葉の枯死や被度の低下が見られるが、移植後の時間経過がわずかのため移植によるストレスによるもので、今後監視を続けることとした。
	クビレミドロ	工事前とほぼ同様な区域で分布が確認された。
	サンゴ	St3 で被度が減少したが、工事前から減少しており、今後監視方法についても再検討するとともに注意深く監視を続けることとした。
	トカゲハゼ	生息個体数、生息面積ともに事前調査の変動範囲内にあった。
比屋根湿地の汽水生物		樹木本数、魚類・甲殻類・軟体動物の生息状況ともに事前調査の変動範囲内にあった。

貴重種・重要種に相当する種で環境影響評価書に

記載されている動植物種以外の種の存在等について

本日、「中城湾港（泡瀬地区）公有水面埋立事業に係る環境影響評価書（平成12年3月）」（以下「アセス書」という。）の手続きの定めに基づき、標記について、県の環境部局（文化環境部）へ提出した。

なお、アセス書においては、県知事意見及びこれに対する事業者の見解として以下の通り記述されている。

工事中に天然記念物指定種や「レッドデータブック」、「レッドリスト」等の掲載種、その他貴重種・重要種に相当する種で、環境影響評価書に記載されている動植物以外の種の存在が埋立に関する工事の施工区域内若しくはその近傍で確認された場合には、関係機関へ報告するとともに十分調整を図り、その保全に必要な措置を適切に講じます。

貴重種・重要種に相当する種で環境影響評価書に記載されている動植物種以外の種について、平成14年度のモニタリングにおいて確認した種、平成15年度に入り新たに確認した種、情報提供のみで事業者としては未確認の種について、工事による影響があるかどうか、その種の生息基盤において重要かどうか等について検討するとともに、環境監視委員会における委員の意見も踏まえ、事業者としての対応策について環境監視委員会で用いた資料を修正してとりまとめた。具体的には、海草や貝類に係る調査を8月に追加で実施することとしたほか、文献調査等の整理を行い修正した。

事業者としては、今後、県環境部局と調整を行うこととし、海上に石材を投入する等の本格的な工事については、調整が終了するまで見合わせる予定である。

結果の概要

平成14年度調査で確認した種

動植物種	対応策
クロツラヘラサギ	主生息域への工事の影響はないと考えられるため、引き続き注目してモニタリングを継続する。
ハヤブサ	モニタリングを継続する。
オオバン	モニタリングを継続する。
ハウロクシギ	モニタリングを継続する。
カワセミ	モニタリングを継続する。
カサノリ	モニタリングを継続する。
ホソエガサ	沖縄では広く（糸満市名城、与那城町屋慶名、名護市屋我地等）分布しており、RDおきなわでは危急種の指定であるため、モニタリングを継続する。

ハサミシャコエビ	モニタリングを継続する。
ヤマトウシオグモ	モニタリングを継続する。
トビハゼ	モニタリングを継続する。
カノコセビログニ	モニタリングを継続する。
ヒラモクズガニ	モニタリングを継続する。
トゲアシライガニモドキ	モニタリングを継続する。
イボアヤカワニナ	モニタリングを継続する。

今年度に入り確認した種

動植物種	対応策
ウミヒルモ sp	主生息域は埋立後も保全されるため、工事による影響を監視する。なお再確認のための調査を行う。
ヒメウミヒルモ	主生息域は埋立後も保全されるため、工事による影響を監視する。なお再確認のための調査を行う。
ホソウミヒルモ (仮称)	主生息域は埋立後も保全されるため、工事による影響を監視する。なお再確認のための調査を行う。

現時点では未確認の種

動植物種	対応策
ニライカナイゴウナ	未確認であるため、今後調査を行う。
オボロヅキ	未確認であるため、今後調査を行う。
スイショウガイ	未確認であるため、今後調査を行う。以前から食用とされていた種であり希少性無く、特段の対応を行わない。
オキナワヤワラガニ	未確認であるため、今後調査を行う。
リュウキュウズタ	未確認であるため、今後調査を行う。

中城湾港泡瀬地区護岸の台風等に対する防護対策工事 (飛散防止等)の実施について

平成14年度に施工した護岸については、工事期間が十分にとれなかったこともあり、例年7月までに来襲する確率のある波浪に対する安全を考慮した構造となっております。トカゲハゼの産卵期が終了し、台風シーズンを迎えるにあたり、施工中の波浪等による護岸に積まれた石の飛散を防止し、周辺の干潟等の環境を保全するために、至急防護対策を実施するものです。

本工事は、飛散防止ネットの敷設とネットの端部の押えとしての根固工用袋材設置の二種類から成りますが、両者とも周辺環境への影響はないと考えております。従って、貴重種等に係る県環境部局との調整とは無関係に行なうものです。

なお、工事の期間は8月5日より約1週間で、概要を以下に示します。
(海上に石材を投入する等の本格的な工事については、貴重種等に係る県環境部局との調整が終了するまで見合わせる予定です)

1. 当日(8/5)の作業内容

- (1) 飛散防止ネット布設
- (2) 袋型根固工用袋材据付
- (3) 浮標灯設置(作業用航路部)

2. 当日(8/5)の現地取材について

(1) 作業船の出航状況の取材

7時45分までに中城湾港出張所の駐車場に集合して下さい。

(2) 海上作業状況の取材

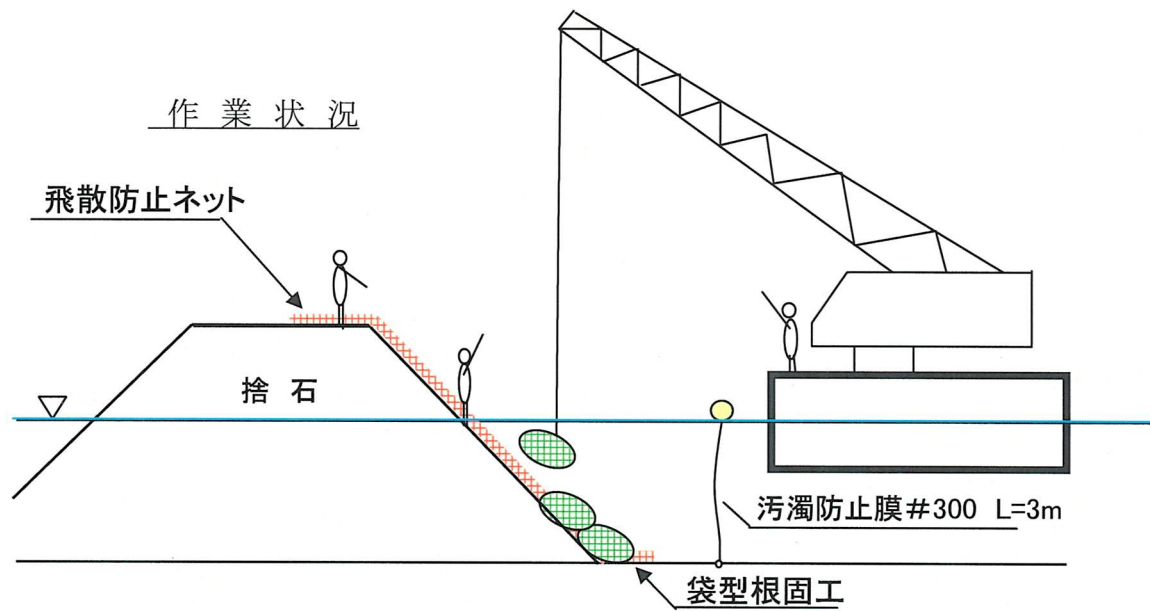
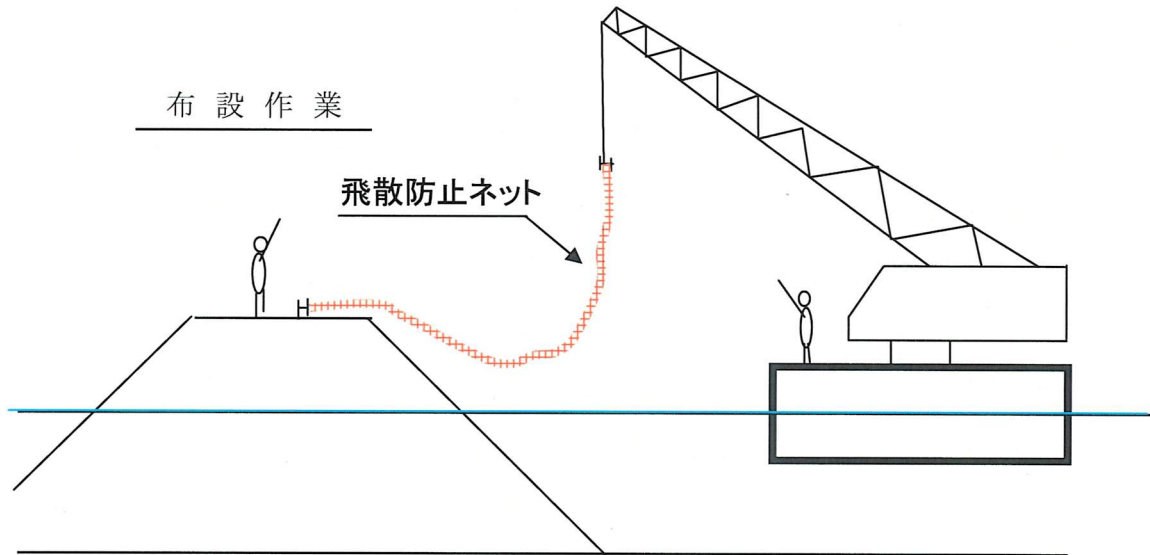
9時15分までに中城湾港出張所の駐車場に集合して下さい。

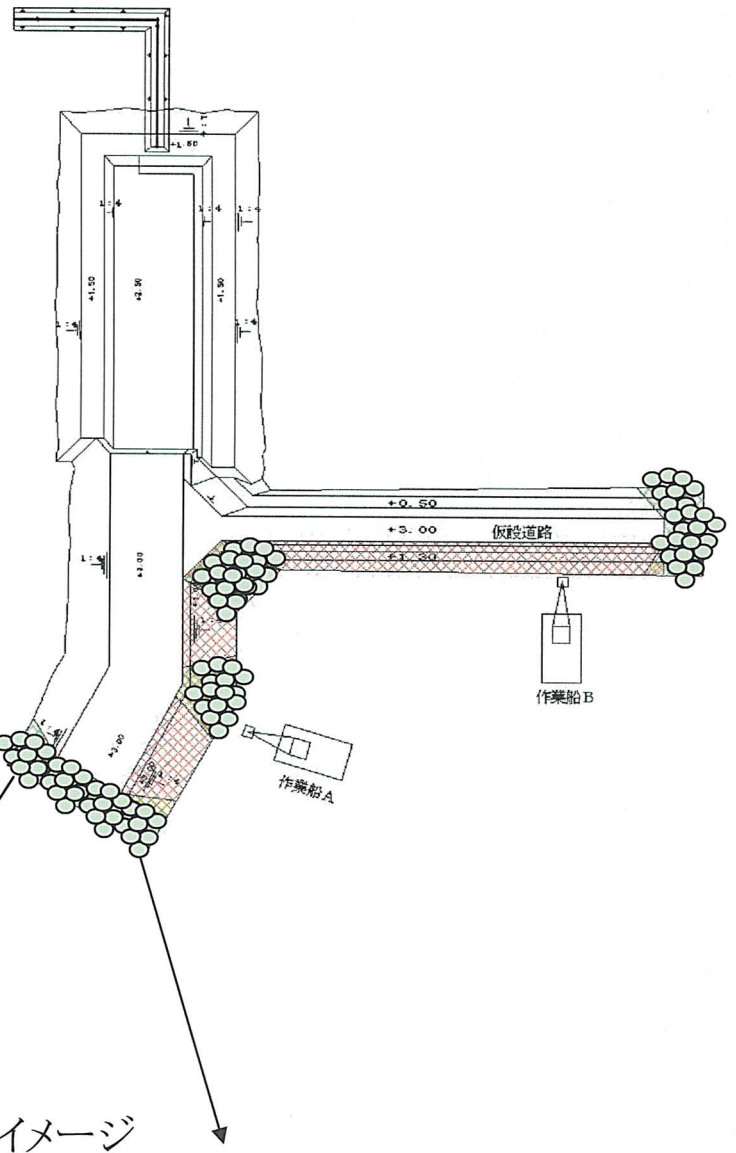
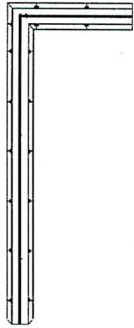
3. 現地取材(海上)については、当方で船舶を用意致します。乗船をご希望される方は、8月4日(月)20時までに氏名、人数等をご連絡下さい。なお、隻数に限りがありますので乗船人数は調整させていただく場合があります。また、当日(8/5)の波浪条件等により、日程は変更になる場合があります。

連絡先：沖縄総合事務局 那覇港湾空港工事事務所 中城湾港出張所
益留・知念


TEL：098-938-9640

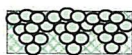
台風等に対する護岸の防護対策（飛散防止工）について





凡 例

 飛散防止ネット

 袋型根固工

作業イメージ

